

● 町田リサイクル文化センター 施設計画の考え方（案）

【配置計画の考え方について】

・ 進入路の考え方と施設の建設予定範囲

- ・ 既存の施設西側の出入口は、収集車出入口としては使わない方針とします。
- ・ 敷地南側及び西側が通学路であることを考慮し、安全面に配慮した計画とします。
- ・ 新施設は、既存工場棟の稼働に必要な部分以外のスペースを利用して計画します。



・ 進入路の考え方案

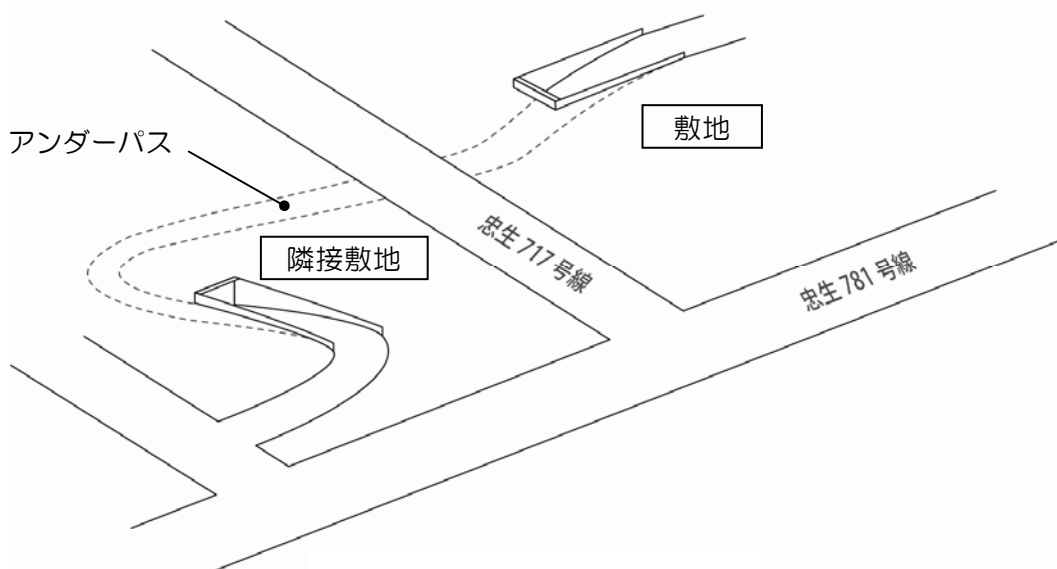
①案 敷地南西側の隣接敷地からアンダーパスで敷地北側へ進入	②案 敷地南西側の隣接敷地からアンダーパス又はオーバースで敷地へ進入
	
○ 忠生717号線を使用することなく、アンダーパスで敷地内にアクセス可能。	○ 忠生717号線を使用することなく、オーバースで敷地内にアクセス可能。
③案 敷地南側から平面で進入	④案 敷地西側から平面で進入
	
△ 既存出入口口（西側）は使わない計画だが、平面での進入となるため、通学路を横切る形となる。	△ 既存出入口口（西側）と同じ敷地西側から平面での進入となるため、交差点改良、信号設置などの安全対策を併せて行う必要がある。

● 進入方式について 補足説明

・アンダーパスとは

立体交差で掘り下げ式になっている下の道路のことを言います。

本計画の場合は、敷地南西側の隣接敷地部分から進入して下ってゆき、忠生717号線の地下を通過して、町田リサイクル文化センターの敷地内で地上に上ってくる形になります。

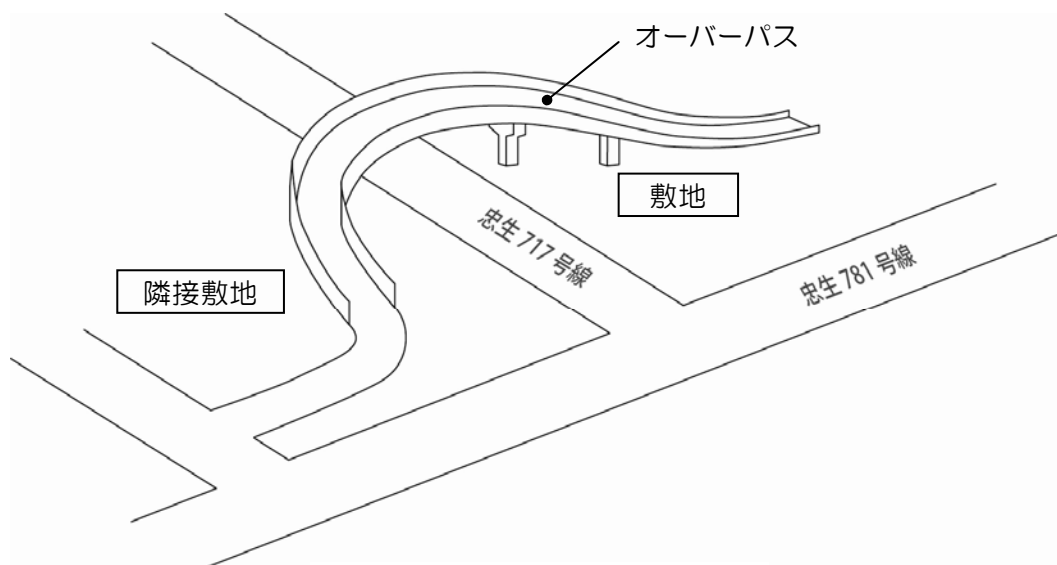


【アンダーパスのイメージ】

・オーバーパスとは

立体交差で高架橋になっている道路のことを言います。

本計画の場合は、敷地南西側の隣接敷地部分から進入して上がってゆき、忠生717号線の上を通過して、町田リサイクル文化センターの敷地内に下ってくる形になります。



【オーバーパスのイメージ】